

**9. ISO/TC 94(個人安全-個人用保護具)/  
SC 13(防護服) 国内審議分科委員会  
兼 ISO/TC 94/SC 13 国内審議分科委員会  
作業部会 主査・幹事会議 活動報告**

## 9.1 2023 年度 第 1 回 ISO/TC 94/SC 13 国内審議分科委員会 兼 ISO/TC 94/SC 13 国内審議分科委員会作業部会 主査・幹事会議 議事録

1. 日時: 2023 年 4 月 18 日(火) 15:00~17:00
2. 場所: アゼアス株式会社 2 階 中会議室(東京都台東区蔵前 4-13-7)  
/Web 参加(Microsoft Teams)
3. 出席者: (順不同、敬称略) 会場参加予定者 7 名、Web 参加予定者 10 名、欠席者 1 名

SC 13	WG	ご所属	氏名	出欠
委員長	WG1・3・8 主査	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (放射線医学研究所)	山内 正剛	We
委員		経済産業省 製造産業局 生活製品課	石川 高志	Web
委員		経済産業省 産業技術環境局 国際標準課	葛本 祥子	Web
委員		一般財団法人日本規格協会	古田 豊	Web
委員		公益社団法人日本保安用品協会	小松 克行	欠席
委員		一般社団法人日本防護服協議会	鈴木 一裕	会場
委員	WG1 幹事・ WG 統括事務局	アゼアス株式会社	野原 由樹子	会場
委員	WG2 主査	信州大学 繊維学部	若月 薫	Web
委員	WG2・6 幹事	一般財団法人カケンテストセンター	辻 創	会場
委員	WG3 幹事	アゼアス株式会社	磯田 実	会場
委員	WG5 主査	防衛装備庁 艦艇装備研究所	山田 晃也	会場
委員	WG6 主査	信州大学 繊維学部	篠原 克明	会場
委員	WG8 幹事	アトム株式会社	森下 哲樹	Web
オブザー バー		厚生労働省 労働基準局 安全衛生部安全課	三浦 玲	Web
オブザー バー		デュポン・スペシャルティ・プロダクツ株式会社	池田 信一郎	会場
事務局		公益社団法人日本保安用品協会	尾崎 克己	Web
事務局		公益社団法人日本保安用品協会	眞戸原 吉孝	Web
事務局		公益社団法人日本保安用品協会	政野 祐一	Web

#### 4. 議事概要:

議事に入る前に、山内委員長から挨拶があり、鈴木委員が議事進行役に指名された。

- (1) ISO/TC94/SC13 国内審議分科委員会委員長及び委員の紹介  
委員長及び参加者が自己紹介した。

(2) 2022 年度及び 2023 年度国際規格原案回答状況報告

統括事務局より報告があった。

資料 2023 国①-2:2022 年度の国際規格回答実績は 41 件(WG 2 件、CD 14 件、DIS 4 件、DTR 1 件、FDIS 1 件、SR 6 件、CIB 12 件、その他(電子メールでの回答を求められた案件)1 件)あり、回答期日に間に合うように該当 WG にて審議し回答している。

資料 2023 国①-3:2023 年度(4 月 1 日～)の回答は 7 件(CD 1 件、DIS 5 件、FDIS 1 件)あり、新たに審議案件が 5 件届いているため、実質 12 件届いている。次回の SC13 会議で報告する。

(3) 2022 年度報告 及び 2023 年度計画について WG 1

野原 WG1 幹事より報告があった。1 月の会議以降、大きな動きはなかった。

資料 2023 国①-0\_45:P.8(1)国際規格案回答状況等②2023/2/24・2023/3/6 の国際規格回答空欄箇所について、全て賛成で回答した。国際会議 7 回全てに参加した。国内会議は開催せず、投票案件の必要に応じてメール審議を実施した。JIS は改正していないが、改正審議を行った。JIS T8005 2023 年版が 2023 年 1 月 25 日に改正公示された。

資料 2023 国①-5:日本が提案している国際標準化提案 ISO23762 中リスクレベル用視認性衣服の案件は賛成多数で可決、自主キャンセルという形でインターネット上削除となっているが、図記号の改正版が登録され次第、再開に向けて審議を進めていく。

資料 2021 国①-6:FDIS11610 エキスパート向けに意見募集があったため、日本からはコメントせず賛成投票した。賛成多数で可決された。今年度中には ISO として用語集が発行されると思われる。

資料 2023 国①-7:2023 年活動概要、国際会議 2023 年 9 月上田(日本)会議へ WG1 も参加予定。国内会議は投票案件等の必要に応じ、国内会議開催又はメール審議を実施予定。DIS 2 件回答済、SR 高視認性安全服の不定期見直しの案件が来ており、9 月回答期日に間に合うよう審議を進める。WG1 活動報告は日本からのコメントは特になく、中国が提案している、既にヨーロッパで運用中の EN 規格を基に内容修正している規格で、国際的に反対はなく賛成多数で可決されているので、今年度 FDIS が審議され、ISO として発行されると予想している。

(4) 2022 年度報告 及び 2023 年度計画について WG 2

辻 WG2 幹事より報告があった。

資料 2023 国①-10:2022 年度の活動報告 PG11612・14116、ISO12127-2 の投票案件があった。ISO11612・14116 はコメントあり(ファスナーの難燃化を日本から提案)、ISO12127-2 は世界的に規格を使う人がいないため、見直しの段階で確認があったが不要と判断、日本も賛成した。廃止することに反対する人がいなかったため、廃止となる。

資料 2023 国①-15:2023 年の活動について、9 月国際会議が予定されており、DIS 3 件 (ISO13506-2、14460、13506-1)案件が出ており、いずれも賛成している。そろそろ見直しの案件が出てくると予想されるので、内容を精査し、委員で意見照会しながら、出てきたコメントを検討し投票に臨む。

関連する対応 JIS として、計画段階の JIS T 81128(ISO11611 溶接の作業服の性能規格及び試験方法)既に ISO6942 が改正されているので、対応 JIST8020 の改正を 2023 年度後半からのスタートに向けて準備をしている。81128 は内容が不足している部分があるため技術的な変更を伴う改正になる。できるだけ ISO に合わせた改正予定。国内作業部会は今のところ予定なし、年 1 回開催し、メンバーと情報共有したい。

※追加:ランドロビン ISO17492 が 1 年程動いていなかったが動き出し、9 月上田会議には結果が出てくる予定。

(5) 2022 年度報告 及び 2023 年度計画について WG 3

磯田WG3 幹事より 2022 年度について 1 月以降の話に絞って報告があった。

資料 2023 国①-19:回答件数と内訳の空欄について、ISO16602-1・2・3・4・5・6 の CD 投票があった。ISO16602 シリーズの審議期間を 9 か月延長するという投票があった。それぞれコメントをつけて賛成投票した。9 か月の審議期間延長についても賛成投票した。

ISO19918・27065 の SR 投票があった、JIS 審議で出てきた問題点をつけて改定し法令化をすすめるという投票をした。SC14 の投票案件、ISO/DIS244588(CBRN 用防護アンサンブル規格)は SC14 で作られた規格で、SC13 と共同で審議していた。DIS になったため、1 国 1 投票とし SC14 で投票する形だったが、国によっては SC13 からのコメントが必要ということがあったため、SC13 でコメントがあるかという投票があったが、SC14 でコメントを統一したため、SC13 ではコメントはないという投票をした。SR 投票が 4 件出てきている。資料 2023 国①-31:2023 年度について上田会議に参加、その他にも案件あり。国内会議について、ISO16602 の案件が出てきた際には作業部会開催予定だが、案件に応じて作業部会開催 or メール審議を実施予定。既に投票が終わっている 2023 年投票案件は、ISO17490-5(防護服完成品試験の ASTN ベースのスプレー試験)についてコメントありで投票した。SR 4 件、ISO17491-1(気密試験)・2(陽圧服)について意見を頂き、9 月迄に回答する。ISO13982-1・2(タイプ 5 防護服、粉塵用防護服の製品規格、試験規格、粉塵の漏れ率規格)一度改正しようとヨーロッパ中心に動いたが、なくなっているので、今後どのように動くのか読めないが SR 投票がされるので、関係者に意見を頂く予定。ISO6530 ランドロビンが今年予定されている。3/末に ISTH キャロル氏が下打ち合わせ会議を開催し参加した。(サンプル何にするか、試験結果記入シート内容確認)生地は少なくとも 2 種+1 種出来ればとヨーロッパで調達中。ランドロビンはスタートしていない。揃い次第案内が来るはず。9 月には結果含め間に合わない可能性あり。

(6) 2022 年度報告 及び 2023 年度計画について WG 5

WG5 幹事に代わり、日本防護服協議会の統括事務局(野原)より報告があった。

資料 2023 国①-33:2022 年度については前回 1 月から動きがなかった。国際会議 9 月参加、国内会議はメール審議を実施した。ISO13997 審議が WG8 へ移管された。JIS T8125-1・2 が改正・公示された。JIS T8125-3・4 は委員会審議終了。JIS T8125-5・6 は審議中。資料 2023 国①-34:2023 年度について 国際コンビーナは部会の状況は不明、9 月上田会議で会議開催されると予想される。WG5 の会議があれば国際会議にエキスパ

ートが参加するだろう。投票案件 SR が来たらメール審議を実施する。JIS はチェーンソーシリーズの-5・6 審議継続中、改正作業に注力する。その他の JIS への応募は予定なし。  
※山田 WG5 幹事より、WG5 の幹事を引き続き募集しているとのコメントがあった。

(7) 2022 年度報告 及び 2023 年度計画について WG 6

辻 WG6 幹事より報告があった。

資料 2023 国①-35:2022 年度、前回会議の後オンライン会議が1月に 1 回あった。ISO22615(感染性病原体に対する防護服の性能要求と試験方法に関して) CD 投票に向けての合意を得るための下打ち合わせをした。JIS T8122があるが、完全一致ではない規格のため、日本からも関係するエキスパートの方にオンライン会議に参加して頂いている。ISO22615 JIS と大きく乖離しない、オプションで追加事項があっても良いが、mandatory のところで要求事項が高くなる等は避けたいと陳情している。資料 2023 国①-36:2023 年度の活動はISO22615が続くと考えられる。次の CD 投票に向け準備しており、整い次第 CD 投票にかけられると見込んでいる。去年の段階で ISO20380(ドレープやガウンの規格)を再立ち上げのためキャンセルしたが、どのような形で提案されてくるかがポイント。EN との兼ね合いが上手くいかず、前回規格化ができなかったため、コロナ等を踏まえて、どのような ISO を作るかが審議のポイントとなる。具体的なアクションは出していない。9 月上田会議で何かしら提案が出てきたら、関係者へ声掛けをして規格のコンセプトづくりを参画していく。

(8) 2022 年度報告 及び 2023 年度計画について WG 8

森下 WG 8 幹事より報告があった。

資料 2023 国①-38:1月会議以降の報告、ISO/DIS374-1・5 1月24日会議の際には投票結果が出ていなかった。3月21日WG8 Web 会議の際に、DIS374-1 は FDIS に回って今年度の投票になり、DIS374-5 は FDIS スキップでそのまま発行となると決定した。P.57 ②国際会議内訳の最終行に2023年3月21日PG Web 会議5名参加を追記する。P.58 3-② 1-3 月にかけて ISO23388 の JIS 化作業が始まっている。1 月未報告分 P.59 ISO21420/Amd1 昨年7月発行、2023年に発行予定。資料 2023 国①-42:2023 年度の活動、審議に対しコメントしながら審議・投票をおこなっていく。FDIS13997(WG5→WG8 にアロケーション分)5月投票予定、ISO374-1 改正審議・投票、JIS T8119(ISO23388)素案作成協、上田会議出席。FDIS13997 回答期限5月15日、FDIS374-1 は未定だが、夏までには審議投票となる。国際会議は主に上田会議について。WG8 meeting はベルギーで4月4・5日に開催済で、内容は上田会議に向けたISO23388改正について。9月上田会議までに追加 Web 会議が行われる可能性あり。国内会議は WG1 回、作業部会を2023年11月頃で考えている。JIS 素案作成委員会は JIS8119 ISO23388 の JIS 化の作業。

JIS 素案作成委員会のところに JIS T8052 を追加→野原が対応する。

ISO13997 JIS T8052 が来月から改正に入る。

(9) 防護服関係規格の JIS 統合予定について

野原 WG1 幹事より報告があった。

資料 2023 国①-44:WG2 活動報告の通り、2023 年度は 2023 区分 B 改正区分への統合 2 件、2024 年 1 月始まりのため 8 月頃までの区分となる。ISO6942 の改正と JIS 化、審議中 ISO11611 の DIS 改正を統合する予定。それ以外に WG からの要望はなし。来年度は必要に応じて追加があるかもしれないが、現時点での予定は 2 件。

(10) 2022 年度及び 2023 年度国際規格原案回答状況報告

資料 2023 国①-45:N 文書が発行されている。信州大学にて 2023 年 9 月 10-15 日で行う・交通手段・上田キャンパスの場所・VISA 関係の案内が発行されている。会議の詳細についてはこれから詰めていく。タイムテーブル等は作成中。対面・Web 会議。開催国ベースの時間帯となる。

(11) 次回の日程について

2023 年度 第 2 回 SC13 国内審議分科委員会兼 SC13 国内審議分科委員会作業部会主査・幹事会議は次の日程で開催することとした。

2023 年 11 月 28 日(火)15 時～17 時

5. 配布資料:

2023国①-1	2023 年度 ISO/TC94/SC13 国内審議分科委員会 名簿
2023国①-2	2022 年度国際規格原案回答状況表
2023国①-3	2023 年度国際規格原案回答状況表
2023国①-4	2022 年度 WG 1 調査表
2023国①-5	ISO 活動報告②—CIB DRAFT Res 728/2023 Cancellation of ISO/CD 23762
2023国①-6	ISO 活動報告②—ISO/FDIS 11610
2023国①-7	2023 年度 WG 1 調査表
2023国①-8	ISO 活動報告②—ISO/DIS 24231
2023国①-9	ISO 活動報告②—ISO/DIS 24232
2023国①-10	2022 年度 WG 2 調査表
2023国①-11	ISO 活動報告①—ISO 6942
2023国①-12	ISO 活動報告②—ISO/CD 11612
2023国①-13	ISO 活動報告②—ISO/CD 14116
2023国①-14	ISO 活動報告②—DRAFT Res 727/2023 Withdrawal ISO 12127-2:2007
2023国①-15	2023 年度 WG 2 調査表
2023国①-16	ISO 活動報告②—ISO/DIS 13506-2 (Ed 2)
2023国①-17	ISO 活動報告②—ISO/DIS 14460 (Ed 2)
2023国①-18	ISO 活動報告②—ISO/DIS 13506-1 (Ed 2)
2023国①-19	2022 年度 WG 3 調査表
2023国①-20	ISO 活動報告②—Commenting on ISO/DIS 24588
2023国①-21	ISO 活動報告②—ISO/CD 16602-1.2
2023国①-22	ISO 活動報告②—ISO/CD 16602-2.2

2023国①-23	ISO 活動報告②—ISO/CD 16602-3.2
2023国①-24	ISO 活動報告②—ISO/CD 16602-4.2
2023国①-25	ISO 活動報告②—ISO/CD 16602-5.2
2023国①-26	ISO 活動報告②—ISO/CD 16602-6.2
2023国①-27	ISO 活動報告②—SR ISO 19918:2017
2023国①-28	ISO 活動報告②—SR ISO 27065:2017 (Ed 2)
2023国①-29	ISO 活動報告②—DRAFT Res 727/2023 9-month tolerance request ISO16602-series
2023国①-30	2022 年度 WG 3 作業部会議事録
2023国①-31	2023 年度 WG 3 調査表
2023国①-32	ISO 活動報告②—ISO/CD 17491-5
2023国①-33	2022 年度 WG 5 調査表
2023国①-34	2023 年度 WG 5 調査表
2023国①-35	2022 年度 WG 6 調査表
2023国①-36	ISO 活動報告②—WG 6 N 157(ISO/CD 22615)
2023国①-37	2023 年度 WG 6 調査表
2023国①-38	2022 年度 WG 8 調査表
2023国①-39	ISO 活動報告①—ISO 21420 Amd1
2023国①-40	ISO 活動報告②—ISO_DIS 374-1 (Ed 2)
2023国①-41	ISO 活動報告②—ISO_DIS 374-5 (Ed 2)
2023国①-42	2023 年度 WG 8 調査表
2023国①-43	ISO 活動報告②—ISO/FDIS 13997 (Ed 2)
2023国①-44	防護服関連 ISO 規格の JIS 化推進計画
2023国①-45	ISO-TC 94-SC 13_N2086_Meeting notification & logistical information 29th plenary, WG & PG meetings, Ueda Japan 2023-09-10 to 15

以上

**9.2 2023 年度 第 2 回 ISO/TC94/SC13 国内審議分科委員会 兼  
ISO/TC94/SC13 国内審議分科委員会作業部会 主査・幹事会議 議事録**

1. 日時: 2023 年 11 月 28 日(火) 15:00~17:00
2. 場所: アゼアス株式会社 2 階 中会議室(東京都台東区蔵前 4-13-7)  
又は Web 参加(Microsoft Teams)
3. 出欠: 会場参加者 11 名、Web 参加者 3 名

SC 13	WG	ご所属	氏名	出欠
委員長	WG1・3・8 主査	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (放射線医学研究所)	山内 正剛	WEB
委員		経済産業省 製造産業局 生活製品課	石川 高志	WEB
委員		経済産業省 産業技術環境局 国際標準課	小川 佳子	会場
委員		一般財団法人日本規格協会	古田 豊	WEB
委員		一般社団法人日本防護服協議会	鈴木 一裕	会場
委員	WG1 幹事・WG 統括事務局	アゼアス株式会社	野原 由樹子	会場
委員	WG2・6 幹事	一般財団法人カケンテストセンター	辻 創	会場
委員	WG3 幹事	アゼアス株式会社	磯田 実	会場
委員	WG5 主査	防衛装備庁 艦艇装備研究所	山田 晃也	会場
委員	WG8 幹事	アトム株式会社	森下 哲樹	会場
オブザーバー		デュポン・スペシャルティ・プロダクツ株式会社	池田 信一郎	会場
オブザーバー			稲井 巡	会場
オブザーバー		一般社団法人日本防護服協議会	山田 彩	会場
事務局		公益社団法人日本保安用品協会	尾崎 克己	会場

4. 議事概要:

(1) 委員長挨拶及び参加者自己紹介

山内委員長からご挨拶を頂戴したあと、参加者が自己紹介した。

(2) 2023 年度国際規格原案回答状況報告

統括事務局より資料 2023 国②-2 が提示され、2022 年度の審議案件は 38 件(NP 1 件、WG 1 件、CD 3 件、DIS 10 件、FDIS 1 件、SR 12 件、CIB 8 件、WDRL 1 件、その他 1 件)あり、回答期日に間に合うように該当 WG にて審議し回答している旨の報告があった。また、発行された ISO は ISO 11610:2023 及び ISO 13997:2023 の 2 件であった。

(3) 2022 年度活動報告 WG 1

野原 WG1 幹事より資料 2023 国②-3~10 が提示され報告があった。国際会議は長野県上田にて 4 回(SC13 が 1 回、WG が 1 回、PG が 2 回)開催され参加した。国内会議は 1 回開催され、他にも投票案件の必要に応じてメール審議を実施した。

国際規格は WG1 件 (TR 19382)、DIS 2 件 (24231, 24232)、CIB 2 件 (N2092、N2090) に回答済みである。

(4) 2022 年度活動報告 WG 2

辻 WG2 幹事から資料 2023 国②-11~20 が提示され報告があった。国際会議は 12 月 12 日に Teams にて開催予定。他にも投票案件の必要に応じてメール審議を実施した。

国際規格は 8 件審議している。CD 1 件 (9185)、DIS5 件 (13506-2、14460、13506-1、11612、14116)、CIB 1 件 (N2104)、WDRL 1 件 (12127-2)、その他 1 件 (AWI 9185) には賛成投票を実施した。

DIS 14460 及び DIS 11612 について、ファスナーにも難燃性を要求すべきと提案をし、要求事項として採用されている。しかし、DIS 11612 については 12 月 12 日の会議で反対意見がでる可能性もあり、様子を見ている。

ISO 9185 で熔融金属を使った火傷を評価するために使う模擬皮膚の在庫が少なくなっていることが欧州で問題になっていたが、代替物の開発が出来た為、代替物に切り替えための提案があった。日本では試験実施例が少なく、影響も少ない為、賛成投票を行った。

(5) 2022 年度活動報告 WG 3

磯田 WG3 幹事より資料 2023 国②-21~29 が提示され報告があった。国際会議へは長野県上田にて 3 回 (SC13 が 1 回、WG が 1 回、PG が 1 回) 開催され参加した。国内会議は開催していないが、上田会議の前にエキスパート会議を 1 回開催した。

国際規格は 8 件審議している。CIB 1 件 (N2093) と DIS 1 件 (17491-4) に賛成投票を行った。CD 1 件 (17491-5) に対して、コメントをした。SR 3 件 (13982-1、13982-2、17491-2) は“改訂”を選択し、JIS 改正で出てきた点をコメントした。

(6) 2022 年度活動報告 WG 5

WG5 幹事不在のため、日本防護服協議会の統括事務局 (野原) より資料 2023 国②-30~32 が提示され報告があった。国際会議へは長野県上田にて 2 回 (SC13 が 1 回、WG が 1 回) 開催され参加した。国内ではメール審議を実施し、SR 6 件 (11393-1、11393-3、11393-2、11393-4、11393-5、11393-6)、CIB 1 件 (WG 5 コンビナー) に回答予定である。CIB 投票では、長らく不在であった WG 5 コンビナーの後任として、アメリカから立候補者が出たため、日本からは賛成で投票予定である。JIS については、JIS T 8125-5 及び-6 の改正原案作成委員会を 9 回開催した。ISO 11393-3:2018 に対応した JIS T 8125-3 は来年発行される予定。

(7) 2022 年度活動報告 WG 6

辻 WG6 幹事より資料 2023 国②-34~37 が提示され報告があった。国際会議へは長野県上田にて 3 回 (SC13 が 1 回、WG が 1 回、PG が 1 回) 開催され参加した。国内会議は 1 回開催した。

国際規格は 4 件審議している。投票件数は少ないが、活発に審議が進められている。CIB 1 件 (N2089) には賛成投票を行った。製品規格である CD 1 件 (22615) には賛成投票、NP 1 件 (20384) には、20384 と 22615 の住み分けの必要や、日本では AAMI/PB70 に基づい

た性能評価を行っている製品が多くありユーザーの混乱を招く可能性がある為、反対投票を行った。SR 1 件(22610)についても期日までに投票を行う。

(8) 2022 年度活動報告 WG 8

森下 WG 8 幹事より、資料 2023 国②-38~42 が提示され報告があった。国際会議へは長野県上田市にて 3 回(SC13 が 1 回、WG が 2 回)、ベルギーのアンデルレヒト及びベルギーのブリュッセルにて各 1 回(WEB 参加)、Teams 会議が 1 回開催され、参加した。国内会議は開催していないが、必要に応じてメール審議を実施した。

国際規格は 5 件(DIS 1 件、FDIS 1 件、CIB 2 件)を審議し、FDIS(13997)、CIB(N2108)、DIS(374-6)には賛成投票を行った。CIB(WG 8 コンビーナ)及び DIS(23388)については未定である。FDIS 投票については 6 月に ISO 13997:2023 として発行されている。なお、次回以降の SR 投票などは WG 5 で行うこととなる。こちらを基として、JIS T 8052 を改正予定。JIS については、JIS T8119 制定原案作成委員会を 10 回、JIS T8052 改正原案作成委員会を 7 回開催した。

(9) SC 13 国際会議について

鈴木委員より、資料 2023 国②-43 が提示され、2023 年 9 月 10 日(日)~9 月 15 日(金)に、長野県上田市にある信州大学繊維学部上田キャンパスにて開催された、SC13 上田国際会議について報告があった。9 月 13 日及び 14 日にキャンパスツアーを、9 月 13 日にソーシャルイベントを開催した。

(10) TC94 議長選任について

統括事務局より、TC94 議長選任の CIB 投票について、説明があった。SC 13/WG 2 のコンビーナも務めている、David Matthews 氏が推薦されている。SC 13 としては賛成の意見を、日本保安用品協会宛に連絡することとなった。また、SC 14 にも確認をすることとした。

(11) WG 主査・幹事について

山内理事長が WG1、WG3、WG8 主査を 12 月に辞任する意向を示していること、また WG5 幹事の不在が続いていることから、後任の主査及び幹事候補者について各 WG 主査・幹事及び関係者で検討した内容として、2024 年 3 月までの暫定処置として、下記の体制にしたいとの説明があった。(変更箇所は網掛け部分)

変更日は 12 月 1 日からとすることとした。

WG	主査	幹事	主査	幹事
WG 1	山内氏	野原氏	篠原氏	野原氏
WG 2	若月氏	辻 氏	若月氏	辻 氏
WG 3	山内氏	磯田氏	稲井氏	磯田氏
WG 5	山田氏	(不在)	山田氏	辻 氏
WG 6	篠原氏	辻 氏	篠原氏	磯田氏
WG 8	山内氏	森下氏	稲井氏	森下氏

また、今後の主査・幹事の体制について、主査の方の立場について(アカデミックな方のみなのか、民間企業の方でも良いのか、現役の方のみなのか、等)、新しい方にご参加いた

だけなのか、主査幹事就任依頼をする際の規則や書面、等を議論する場として、主査・幹事ミーティングを別途開催することとした。

5. 配布資料:

2023国②-1	2023 年度 ISO/TC94/SC13 国内審議分科委員会 名簿
2023国②-2	2023 年度国際規格原案回答状況表
2023国②-3	2023 年度 WG 1 調査表
2023国②-4	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 24231:Protective clothing – Protection against rain – Test method for ready-made garments against high-energy droplets from above
2023国②-5	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 24232:Protective clothing – Protection against rain
2023国②-6	ISO 活動報告② CIB: ISO/TC94/SC13 N2092: Draft Res 732/2023 – ISO 24231&ISO 24232 9-month extension
2023国②-7	ISO 活動報告② CIB: ISO/TC94/SC13 N2090: Draft Res 731/2023 – ISO/DIS 24232 new project leader
2023国②-8	ISO 活動報告② WG: ISO TR 19382
2023国②-9	ISO 活動報告② SR: ISO 20471:2013 (vers 2)
2023国②-10	WG 1 第 1 回作業部会議事録
2023国②-11	2023 年度 WG 2 調査表
2023国②-12	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 13506-2 (Ed 2):Protective clothing against heat and flame – Part 2: Skin burn injury prediction – Calculation requirements and test cases
2023国②-13	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 14460 (Ed 2):Protective clothing for automobile racing drivers – Protection against heat and flame – Performance requirements and test methods
2023国②-14	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 13506-1 (Ed 2):Protective clothing against heat and flame – Part 1: Test method for complete garments – Measurement of transferred energy using an instrumented manikin
2023国②-15	ISO 活動報告② CIB: ISO/TC94/SC13 N2104: Draft Res 734/2023 – 9-month extension for ISO 13506-1 + -2
2023国②-16	ISO 活動報告② WDRL: ISO 12127-2:2007
2023国②-17	ISO 活動報告② その他: ISO/AWI 9185
2023国②-18	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 11612 (Ed 4)
2023国②-19	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 14116 (Ed 3)
2023国②-20	ISO 活動報告② CD: ISO/CD 9185:Protective clothing – Assessment of resistance of materials to molten metal splash
2023国②-21	2023 年度 WG 3 調査表
2023国②-22	ISO 活動報告② CD: ISO/CD 17491-5:Protective clothing – Test methods for clothing providing protection against chemicals – Part 5: Determination of resistance to penetration by a spray of liquid (manikin spray test)
2023国②-23	ISO 活動報告② CIB: ISO/TC94/SC13 N2093: Draft Res 733/2023 – decision SR ISO 27065:2017
2023国②-24	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 17491-4 (Ed 2)
2023国②-25	ISO 活動報告② SR: ISO 13982-1:2004 (vers 3)
2023国②-26	ISO 活動報告② SR: ISO 13982-2:2004 (vers 3)
2023国②-27	ISO 活動報告② SR: ISO 17491-1:2012 (vers 2)
2023国②-28	ISO 活動報告② SR: ISO 17491-2:2012 (vers 2)
2023国②-29	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 17491-5 (Ed 2)
2023国②-30	2023 年度 WG 5 調査表
2023国②-31	ISO 活動報告② SR: ISO 11393-1:2018 (Ed 2)

2023国②-32	ISO 活動報告② SR: ISO 11393-3:2018 (Ed 2)
2023国②-33	2023 年度 WG 6 調査表
2023国②-34	ISO 活動報告② CIB: ISO/TC94/SC13 N2089: Draft Res 730/2023 – ISO 22615 9-month extension
2023国②-35	ISO 活動報告② CD: ISO/CD 22615
2023国②-36	ISO 活動報告② NP: ISO/NP 20384
2023国②-37	WG 6 第 1 回作業部会議事録
2023国②-38	2023 年度 WG 8 調査表
2023国②-39	ISO 活動報告② FDIS: ISO/FDIS 13997 (Ed 2):Protective clothing – Mechanical properties – Determination of resistance to cutting by sharp objects
2023国②-40	ISO 活動報告② CIB: ISO/TC94/SC13 N2108: Draft Res 735/2023 – ISO 374-5 proceed to direct publication
2023国②-41	ISO 活動報告② DIS: ISO/DIS 374-6
2023国②-42	ISO 活動報告② CIB_Appointment WG 8 Convenor
2023国②-43	SC13 上田会議 報告書
2023国②-44	防護服関連 ISO 規格の JIS 化推進計画

以上